

2012 WBF Championship “Senri-Series”



馬場毅

プレーオフから悲願の

初優勝！！

白木建太郎

6度目の戴冠ならず！



混戦の終盤を勝ち抜き、大逆転で7度目のシーズン優勝(前後期制含む)を飾った白木建太郎選手。千里シリーズ8戦5勝と安定した実力は折り紙つきといえるが、そのまま勝たせてもらえるほどWBFは甘くはない。千里シリーズ直前に開催された挑戦者決定プレーオフでは、息子を押しのける形でシーズン2位をゲットした馬場毅選手が、前期のプレーオフ勝者藤原聡選手との壮絶なデッドヒートを制して、自身初となる千里シリーズ進出を果たし、今期最後の最後まで覇を競った白木選手との最終決戦に挑むこととなった。ボウリングの王道を突き進む白木か、オールドファンの期待を一身に背負う馬場毅か。WBFの歴史にまた新たな1ページが刻まれる。

(観戦記: 昼行灯 スコア&写真: Woo's Bowling Federation)

・挑戦者決定プレーオフ

馬場毅選手が勝ち抜け！自身初となる千里シリーズ進出！

2週間前の最終戦の興奮も記憶に新しいボウル管根、再びWBF戦士がレーンに戻ってきた。シーズン2位から6位までの選手が勢ぞろいし、年間王者白木建太郎選手への挑戦権を賭け、2ゲーム限りの大勝負に挑む。

1ゲーム目、各選手レーンコンディションを掴めずスコアメイクに苦しみ、低調な出だしとなった。馬場春毅選手からは「(レギュラーシーズンの)3ゲームで身体のリズム作っていくのに慣れてるからなあ…。」と早くも弱気なコメントが飛び出す。結局ただ一人だけ1ゲーム目ストライクを出せた馬場毅選手が素点でもトップに立つ。

2ゲーム目、前年度千里シリーズ勝者の松本誠司選手はスプリットの泥沼に沈み、かつて前後期完全制覇の経験もある島裕二選手は9本からのスベアが取れずにじりじりと後退、今年台風の目となった馬場春毅選手は父親の迫力に押されたのか、ハンデで補えぬほど投球にムラが出た。そんな中、前年度予選から勝ち上がり初の千里シリーズに挑むも3タテで見事に玉砕した藤原聡選手が、我慢のボウリングで馬場毅選手を追いかける。

そして運命の第10フレーム、先に投球を終えた馬場毅選手は190点(素点164)、藤原選手は10フレ1投目8本までで185点(素点148)と、2投目スベアを取れば3投目4本倒して2年連続プレーオフ勝ち上がりが見えるところまでこぎつけるも、2投目痛恨の1本残り。この結果、馬場毅選手が千里シリーズへの初出場が決定した。

選手名	Gm	入賞	得点	1	F	2	F	3	F	4	F	5	F	6	F	7	F	8	F	9	F	10	F	
藤原 聡	1		102>>139	5	-	8	-	8	/	9	/	7	-	s6	-	8	/	5	4	9	-	3	4	
馬場春毅	1		85>>153	8	/	5	4	1	7	5	3	G	9	7	-	7	-	6	-	G	7	9	-	
馬場 毅	1		146>>172	*		s8	1	8	1	7	1	*		9	/	s7	-	9	/	*		7	/	7
島 裕二	1		110>>147	5	4	1	8	5	3	4	-	8	/	9	/	7	2	9	-	6	1	6	/	9
松本誠司	1		111>>111	6	/	6	-	7	1	7	2	6	1	5	2	7	/	7	/	5	/	7	2	
藤原 聡	2		149>>186	9	/	9	-	6	/	8	/	8	/	4	1	*		8	/	9	/	8	1	
馬場春毅	2		105>>173	8	/	8	-	7	-	6	1	G	/	G	-	8	/	s8	1	G	8	*	7	/
馬場 毅	2	進出	164>>190	9	-	1	/	*		s6	2	*		*		9	/	4	/	8	1	9	/	9
島 裕二	2		119>>156	9	-	6	1	*		9	-	9	-	5	/	3	/	7	/	9	-	3	5	
松本誠司	2		148>>148	8	-	s8	-	s8	-	*		s8	1	9	/	*		9	/	7	/	9	/	*

選手コメント:「最後の6番・10番ピンは…。しばらく夢に出るでしょうね。」(藤原聡選手)

:「お父さんががんばって～！」(馬場春毅選手)

:「あと一本が倒れてくれなかったなあ～」(島裕二選手)

:「2ゲームの後半になってようやくレーンが見えたね。遅すぎ。」(松本誠司選手)



●第1戦

白木磐石の攻めで緒戦奪取！

予選の激闘をじっと眺めていた白木選手は、誰が（本戦に）上がってくるかより、レーンコンディションが気になるね。曲がらないのかな？」と記者団に話すなど、リラックスしていたようだ。レーンの感触を確かめるように、丁寧な投球でスコアを積み上げる。

一方の馬場毅選手は 子供たち 予選を共に戦った馬場春毅選手、その妹の唯花ちゃんも応援に駆けつけた)の前で、お父さんのカッコいいところ見せられたらいいね。」と予選から戦闘モードは継続中だ。

第1ゲームは白木選手が本日通産 3ゲーム目で疲れの見える馬場毅選手の隙を見逃さず、終盤で一気に突き放す堂々の勝ちっぷりで先手を取った。

白木建太郎 (シーズン優勝)	6 1	s8 1	*	*	7 /	7 1	5 /	*	8 /	* 9 /	5	
	7	16	43	63	80	88	108	128	148	168	173	
ハンデ込み 得点差⇒	↓34	↓36	↓18	↓7	↑1	↓10	↓7	↑6	↑18	↑29	1勝	HDCP 競技点
馬場毅 (シーズン2位)	*	7 /	1 8	3 6	8 1	6 /	9 /	7 -	7 1	5 4	26	
	20	31	40	49	58	77	94	101	109	118	144	

馬場毅、怒涛の7連続スペアで1勝1敗！

先に折れたのは白木選手。第6フレームで3番・10番のスプリットを沈めきれず、そのまま7フレもミス。その間も堅実にスペアを重ねた馬場毅選手が、白木選手の猛追を振り切りハンデ込み4ピンの差で 聯目をあげて星を五分に戻した。

												
白木建太郎 (シーズン優勝)	*	8 1	8 /	7 /	9 /	s8 1	5 3	7 /	*	9 / s8		5
	19	28	45	64	82	91	99	119	139	157		162
ハンデ込み 得点差⇒	↓18	↓15	↓17	↓17	↓17	↓25	↓34	↓30	↓28	↓17	1勝 1勝	HDCP 競技点
馬場毅 (シーズン2位)	*	4 2	9 /	9 /	9 /	8 /	7 /	7 /	6 /	s7 1		26
	16	22	41	60	78	95	112	128	146	153		179
												

白木、圧巻のターキーで王手！

馬場選手は「一日でこんなに投げたのって、いつ以来か思い出せない」という本日5ゲーム目にミスが重なり中盤ダブルで追い上げるものの5番ピン一本残りのスペアを外して終了。いよいよ後がなくなった。

--	--

馬場毅、粘りに粘って逆王手！
勝負は最終戦に！！

馬はやタダで見られることに申し訳なさを感じるレベルだ。(観戦に訪れた島和男選手)

白木建太郎 (シーズン優勝)	9 / 17	7 / 35	s8 1 44	9 / * 64 84	8 / * 104 123	8 1 132	8 1 141	7 / 6 157	5 162			
ハンデ込み 得点差⇒	↓13	↓14	↓22	↓19	↓7	↓16	↓17	↓27	↓37	↓30	2勝 2勝	HDCP 競技点
馬場毅 (シーズン2位)	9 - 9	8 / 28	9 / 45	7 / 62	7 1 70	* 99	* 119	9 / 138	9 / 157	9 - 166	26 192	

馬場毅、ダブル&ターキーで白木を粉碎！
歓喜の初優勝！！

初参加から20余年、草創期からWBFを支えてきた馬場毅選手の勝利に、ポール曽根は歓喜の声に包まれ、惜しみない拍手が送られた。

												
白木建太郎 (シーズン優勝)	9 / 20	* 38	s7 1 46	9 / 63	s7 1 71	6 / 90	9 / 109	9 / 129	* 149	9 / * 169	5 174	
ハンデ込み 得点差⇒	↓ 10	↓ 19	↓ 31	↓ 33	↓ 43	↓ 42	↓ 32	↓ 42	↓ 47	↓ 47	2 勝 3 勝	HDCP 競技点
馬場毅 (シーズン2位)	9 - 9	* 36	* 56	7 / 75	9 / 93	8 / 111	s8 1 120	* 150	* 175	* 5 / 195	26 221	
												



激闘を終えて…

馬場毅 3(●○○●○○)2 白木

馬場毅選手

勝てると思ってなかったし、7ゲームも投げられると思ってなかった。自分の限界を突破できたような、今はそんな気分です。応援してくれた春毅や唯花、ファンの皆様に心から感謝します。ありがとうございました。

白木建太郎選手

プレーオフは誰が勝ちあがっても負けるとは思えなかったけど、苦しい戦いになるだろうとは思ってた。あと一本倒れてほしいところで踏ん張ったボウル曾根のピンには敬意を表するよ(苦笑)。また来年、初心に帰って頑張りますので応援よろしくお願いします。